

Honda Collection Hall 特別企画展『Honda Dreams 夢の共鳴』を開催

ツインリンクもてぎ(栃木県茂木町)内にある Honda Collection Hall では、2008年6月28日(土)～2009年1月25日(日)の間、特別企画展『Honda Dreams 夢の共鳴』を開催します。

Honda は「夢」を原動力に、世界の頂点を目指し挑戦してきました。当企画展は、製品に込められた「夢」、世界の頂点で研鑽された技術、そして、Honda 60年の歩みと共に語り継がれてきた、Honda の DNA に焦点をあててご紹介いたします。

生誕50年を迎えるスーパーカブシリーズ10台を中心に、1階エントランスより Honda の代表的な製品を7つのコンテンツに分けて展示いたします。

開催概要は下記の通りです。



記

開催概要

- 名 称 『Honda Dreams 夢の共鳴』
- 日 程 2008年6月28日(土)～2009年1月25日(日)
- 会 場 Honda Collection Hall 1階
- 入 館 料 無料 ※ツインリンクもてぎへのご入場には、別途、入場・駐車料金が必要。
- お問い合わせ Honda Collection Hall
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町楡山120-1 ツインリンクもてぎ内
TEL : 0285-64-0341 FAX : 0285-64-0350
ホームページ : <http://www.honda.co.jp/collection-hall/>

ツインリンクもてぎ入場・駐車料

[税込]

		平日	土日・祝日
入場料 (お1人様)	大人(15歳以上)	1,200円	
	子ども(小中学生・6～15歳未満) ※注1	500円	
	幼児(3～6歳未満) ※注1	300円	
駐車料 (1台)	4輪車	無料	600円
		※注2 600円	
	2輪車	無料	300円
	バス(大型・中型・マイクロ)	1,000円	1,000円

※1 6歳でも小学校入学前は幼児料金、15歳でも中学生は子ども料金となります。

※2 春休み・ゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間。対象日はホームページでご確認ください。

【主な展示車両】

■夢の共鳴1(1950年代)

町工場ながらであった Honda が、世界の頂点に立つことを目指した 1950 年代の夢を紹介。
1952 年スマートなデザインと国内販売網を構築したカブ F 型を発売し、Honda はオートバイメーカーとしての基礎を築きながら、1954 年には世界初挑戦となるブラジルの国際レースに参戦。同年、世界 2 輪 GP の頂点「マン島 TT レース」への出場を宣言する。

『カブ F 型(1952 年)』



エンジン : 空冷 2 サイクル単気筒
排気量 : 50cc
最高出力 : 1PS / 3.600rpm
最高速度 : 35km/h
重量 : 6kg

『R125(1954 年)』



エンジン : 空冷 4 サイクル単気筒 OHV
排気量 : 125cc
※展示車両は復元車です。

■夢の共鳴2(1960年代)

1960 年代に入ると Honda の自動車づくりの夢は一気に加速。1963 年に初めて 4 輪市販車 T360 を発売しました。また、その翌年(1964 年)には、F1 グランプリへ初出場し、1965 年に RA272 で F1 初優勝を獲得する。
世界の頂点に立った Honda は、レースを技術研鑽の場としてとらえていた。

『T360(1963 年)』



エンジン : 水冷 4 サイクル 4 気筒 DOHC
排気量 : 354cc
最高出力 : 35PS / 8,500rpm
車両重量 : 550kg

『RA272(1965 年)』



エンジン : 水冷 4 サイクル 60 度 V 型 12 気筒
DOHC4 バルブギヤ駆動
排気量 : 1,495cc
最高出力 : 230PS 以上 / 12,000rpm
最高速度 : 300km/h 以上
車両重量 : 498kg

■生き続けるデザイン

1958年に誕生したスーパーカブは、現在でも世界で最も多くの人々に愛され続けている。その理由は乗る人の立場に立った開発コンセプトにある。基本デザインは現在も変わることなく、Honda DNAを語る1台となっている。

『スーパーカブ C100(1958年)』



エンジン : 空冷4サイクル単気筒 OHV
排気量 : 49cc
最高出力 : 4.5PS / 9,500rpm
最高速度 : 70km/h
車両重量 : 55kg

『リトルカブ C50(1997年)』



エンジン : 空冷4サイクル単気筒 OHC
排気量 : 49cc
最高出力 : 4.5PS / 7,000rpm
車両重量 : 74kg

■生活をもっと豊かに

Hondaの汎用製品の歴史は四輪市販車よりも古く、1953年の汎用エンジンH型からはじまる。その後、耕耘機、船外機、発電機など幅広い製品が誕生する。Hondaならではの使いやすさ、高い耐久性や経済性など一台ごとに込められた夢がありました。

『汎用エンジン G20(1963年)』



エンジン種類 : 強制空冷4サイクル単気筒
ガソリンエンジン
排気量 : 132cc
最高出力 : 3PS / 4,000rpm
車両重量 : 16kg

『耕耘機「プチな」FG201(2002年)』



エンジン種類 : 空冷4ストローク単気筒
立軸形 OHV
排気量 : 49cc
最大出力 : 1.9PS / 4,600rpm
装備重量 : 17kg

■世界一が日本一

Honda にとってレースは、独創の技術を磨き、若い技術者達を鍛える場であり、企業文化そのものとなっている。本田宗一郎の口癖であるこの逆説的表現には、「良品に国境はなく、日本だけを相手にした日本一は、優秀な外国製品が輸入されればたちまち崩れさってしまう。世界一になってこそ初めて日本一になる」という意味が込められている。F1 挑戦にあたり本田宗一郎は「レースをしなきゃクルマはよくなる。観衆の前でシノギを削るレースこそ、世界一になる道だ」と語った。

『RA271(1964年)』



エンジン	: 水冷4サイクル60度V型12気筒 DOHC4バルブキヤ駆動
排気量	: 1,495cc
最高出力	: 220PS以上/12,000rpm
最高速度	: 300km/h以上
車両重量	: 525kg

『RA106(2006年)』



エンジン	: RA806E 水冷4ストローク90度V型8気筒 DOHC4バルブ(エアバルブ)
排気量	: 2,400cc
最高出力	: 700PS以上
車両重量	: 600kg(ドライバーを含む) Formula

■子ども達に青空を

1970年、アメリカで排気ガスに含まれる有害物質を従来の1/10までに規制する法律(通称マスキー法)が発効された。課題山積であったが排気ガスのクリーン化は自動車メーカーの責務であり、技術を競うチャンスの場ととらえ世界で初めて基準をクリアするCVCCエンジンを開発した。燃費効率の向上も実現したHondaの技術と哲学はその後も脈々と活きつづけ、究極のエコカーで燃料電池車FCXへとつながっている。

『シビック CVCC(1973年)』



エンジン種類	: CVCC水冷4サイクル直列4気筒横置 OHC3バルブ
排気量	: 1,488cc
最高出力	: 63PS / 5,500rpm
車両重量	: 740kg

『FCX(2002年)』



モーター	: 交流同期電動機(永久磁石型)
燃料電池スタック	: PEFC(固体高分子膜型)
ウルトラキャパシタ	: 静電容量8.0F
最高出力(モーター)	: 60kw(82PS)
燃料電池スタック	: 78kW
最高速度	: 150km/h
車両重量	: 1,680kg

■レーサーの血統

1965年メキシコ GP の F1 初優勝の報を受けた本田宗一郎は、「我々は、自動車をやる以上、一番困難な道を歩くんだということをモットーでやってきた。勝っても負けてもその原因を追求し、品質を高めて、より安全なクルマをユーザーに提供する義務がある。勝っておごることなく、勝った原因を追求して、その技術を新車にどしどし入れていきたい」と語った。深紅のエンブレムや F1 初優勝マシン RA272 のチャンピオンシップホワイトのカラーリングは、そのスピリットと共に Type-R の称号を持つクルマにのみ与えられている。

『NSX-R(1994年)』



エンジン種類 : 水冷 V 型 6 気筒横置
DOHC4 バルブ VTEC
排気量 : 2,977cc
最高出力 : 280PS / 7,300rpm
最大トルク : 30kgm/5,400rpm
車両重量 : 1250kg(エアコン装着)

『シビック TYPE-R(1997年)』



エンジン種類 : 水冷 4 サイクル直列 4 気筒横置
DOHC 4 バルブ
排気量 : 1,595 cm³
最高出力 : 185PS / 8,200rpm
車両重量 : 1,060kg

以上